

令和6年度 第2回生駒市行政改革推進委員会 会議録

開催日時 令和7年2月10日(月) 午前10時00分～午前12時00分

開催場所 生駒市役所 403,404 会議室

出席者

(委員) 森委員長、松岡副委員長、清水委員、森岡委員、松山委員、中田委員

(事務局) 領家副市長、牧井企画政策課長、白川企画政策課企画係長、
高山企画政策課同係事務員

(担当課) 田中施設マネジメント課長、今里施設マネジメント課課長、
井上施設マネジメント課課長補佐、明石施設マネジメント課ファシリティマネジメント推進室係長

(傍聴者) 1名

欠席者

林委員、中西委員

1 開会

2 案件

(1) 行政改革大綱に係る取組状況の評価方法について

(事務局) 【資料1～資料4について説明】

なお、今回からの新たな行政改革大綱に係る評価において、部会制による審議を採用するかどうかについても意見を賜りたい。

(委員長) 何か意見等はあるか。

(副委員長) 各評価項目においてDやEがつく事業については、継続や廃止、他事業との統合等を委員会側で審議することを前提としてよいのか。

(事務局) 各評価項目にDやEがつくということは、担当課が何かしらの課題を抱えているということであるため、次年度以降に向けて担当課が改善等を図るため、委員会からのご意見をいただきたいと考えている。部会に分かれてご審議いただく場合は、実際に評価いただく事業数は各部会で12～13事業になると考えている。あるいは、部会制を採らず、評価対象事業全てを全体でご審議いただく場合には、時間の都合からどこまで深い議論ができるかという懸念はある。各事業について、深く議論をしたいとご判断される場合には、担当課も同席した上でご審議いただくのも1つの手法かと思う。

(委員) 各事業の評価を深く行うのであれば、部会制ではなく全員で議論した方が良いのではないか。

(事務局) 担当課が自己評価を行った内容の妥当性等について評価いただくということであれ

ば、すべての評価対象事業を全員でご審議いただくことも可能と思うが、各事業のコスト削減や代替案など、さらに一步踏み込んだ議論をしていただくのであれば、時間の都合から部会制で審議を行っていただく方が良いと思う。

(委員長) 各部会に分かれてそれぞれの評価対象事業の審議を行った後、委員会評価の取りまとめとして全体会において全員で確認するのはいかがか。

(各委員) 了承

(委員) 担当課の自己評価において、4つの評価項目の中に「該当なし」が見つかる事業が出てくるかと思うが、客観的に判断すると「該当なし」ではない場合もある。そのため、各評価項目において「該当なし」ついた事業は個別に確認させていただきたい。

(事務局) 担当課の自己評価の際に、「該当なし」と判断した理由を記載していただくようにする。

(委員) 了承

(委員) 委員会としての評価は、こういった視点から評価を行えばよいか。

(事務局) 担当課の自己評価における「今後の取組方針」の妥当性を主に評価していただきたい。

(委員長) 担当課による自己評価は高いが、委員会としては改善等を期待する事業に対して、取組状況評価シートの委員会評価欄における取組方針に、委員会からのコメントを記載するということがよいか。

(事務局) そのとおりである。

(委員長) 担当課による4つの評価項目を参考にして、委員会では総合評価を行うということによいか。

(事務局) そのとおりである。昨年度の取組がどのように進んだのかを総合評価としてAからEの5段階で評価していただきたい。

(委員) 担当課は4項目で自己評価しているが、委員会は総合評価の1項目しかないのは評価し難い。事業内容等によって重視する評価項目が異なることもあるため、もう少し評価しやすい方法を考えたい。

(委員) 自己評価の4項目を踏まえて担当課自身でも総合評価してもらう方が、委員会としてもその総合評価に基づいて判断できるのではないか。

(事務局) 今後の取組方針に加えて、総合評価の欄を設けさせていただく。

(委員) 4つの評価項目の中の例えばコスト意識について、その事業の予算規模などによって評価が変わってくると思う。担当課による総合評価はどのように行うのか。

(事務局) 事務局で4つの評価項目に関する一定の評価基準を事前に示し、それをもとに担当課で自己評価してもらい、総合評価についてはその4つの項目の評価をもとに機械的に行わせていただきたい。なお、機械的に行う総合評価に関する補足事項等については、今後の取組方針に記載させていただく。

(委員) 事業評価シートの各年度の概要欄に実施した事業内容を書いてもらうのか。

(事務局) 各年度の概要には個別の経費を記載しているが、各年度に実施した事業の内容については記載の予定はない。

(委員) 現在の事業評価シート案では、実施した事業の内容等までで理解するのは難しい。

(委員長) 評価を行う委員が事業概要を理解しやすいようチラシ等の添付資料を出してもらった方が良いのではないか。

(事務局) 検討させていただく。

(委員長) 事業評価シート等の具体的な内容や評価基準等については、最終的に委員長と事務局で調整させていただくという形で一任いただきたい。

(各委員) 了承

(2) 公共施設等総合管理計画等の改定について

(事務局) 【資料5～資料6について報告】

(各委員) 了承

3 その他

(事務局) 次回会議は翌年度となる4月頃を予定している。後日日程調整させていただく。

4 閉会